

スペースワン株式会社への出資について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、人工衛星を搭載した小型ロケットの開発から打上げまでを一貫して行う、スペースワン株式会社（代表取締役社長豊田正和、以下「スペースワン」）に対して、このたび、840,000 千円の出資（以下「本出資」）を行いました。なお、本出資は、2023 年 2 月に新設した価値共創投資枠（※1）を活用しています。

スペースワンは、キヤノン電子を初めとする国内大手企業 4 社の共同出資によって設立され、既にわが国で多数の打上げ実績のある固体燃料推進技術を継承・活用し、柔軟な軌道・スケジュールでの打上げを低コストで提供するサービスの事業化に向け取り組み、契約から開発までの「世界最短」と打上げの「世界最高頻度」を目指している企業です。本年 3 月に、国内民間企業初の、自社専用射場（「スペースポート紀伊」）からの自社ロケット「KAيروس（カイロス）」（初号機）の打上げが予定されています（※2）。

スペースワンの取り組みは、グローバル全体において、宇宙へのアクセスコストを下げ、宇宙ビジネスの更なる拡大に貢献することに加え、我が国において、低コストかつ高頻度で打上げ可能なロケットや射場が存在しないという構造上の課題解決に寄与し、将来に亘る我が国の自律的な宇宙活動の実現にも貢献するものと考えております。

みずほ銀行は、当行の有する幅広い顧客網を含む各種ネットワークや総合金融サービスの知見・ノウハウの提供等により、宇宙サプライチェーン等の民間事業者による座組み構築や、顧客への営業ソリューションへの金融機能バンドリング等により、本出資によって事業リスクを一部テイクしながら宇宙産業の持続的発展の一翼を担うことに挑戦していきます。

〈みずほ〉は、お客さまの価値共創パートナーとして更なる真価を発揮することを通じて、次世代の有望産業・企業の育成に貢献し、持続的に発展する未来を創っていきます。

※1 2023 年 2 月 15 日付プレスリリース：「価値共創に向けた取り組みの強化について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230215release_jp.pdf

※2 2024 年 1 月 26 日付プレスリリース：「カイロス初号機の打上げ予定について」

https://www.space-one.co.jp/news/news_20240126.pdf

【スペースワン株式会社の概要】

会社名：スペースワン株式会社

所在地：東京都港区芝公園3丁目5番10号

代表者：豊田 正和

設立：2018年7月

事業：小型人工衛星等にかかる宇宙輸送サービスの提供

URL：<https://www.space-one.co.jp/>

【本出資の概要】

出資額：840,000千円

使 途：研究開発費用、設備投資費用等

（ご参考）当行におけるお客さまの事業支援のための投資等の枠組み

	価値共創投資	トランジション投資	SI*領域投資（資本性資金）
投資対象	新規事業会社（社会課題への対応や新規需要の創出、新たな事業モデルの実現等を目指すもの）	環境・社会の持続性向上に資する事業会社（カーボンニュートラルの実現を含む）	資本増強、事業構造転換、企業価値向上等を目指す事業会社（保有する資産（リアルアセット領域）を含む）
事業ステージ	商業化段階	開発・実証段階	—
主な投資形態	エクイティ（普通株式、種類株式）	エクイティ（普通株式、種類株式）	優先株、劣後ローン等のメザニン、及びエクイティ（匿名組合出資等）

*ストラテジック・インベストメント

以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO